

2014年の世界経済、日本経済を展望する

三菱UFJモルガン・スタンレー証券参与、景気循環研究所長
嶋中雄二

- * 50～60年周期の大底を打つ
- * 堅調なアメリカ経済
- * ユーロ圏も先行指数上向く
- * そこそこの水準の中国
- * 2%のインフレは達成可能
- * 輸出も動き出した
- * 異なる状況での消費税増税
- * 「異次元金融緩和」の威力
- * 「たった一人だけ」はおかしい
- * 近づくゴールデン・サイクル



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

早いもので2013年も今日が最後の講演会になりました。幸いといえますか、アベノミクスもありまして、2013年は株が6割上がり、為替も104円と円安に突き抜けてくる感じでございます。

今日は嶋中先生です。前回は年を越してしまいました。今回は年内最後の登板をしていただきます。今日は発売したばかりの元氣の出る本をお帰りにぜひ買っていただきたいと思いません。先生は、アベノミクス以前から異次元緩和をすればデフレを脱却して日本経済は良くなる、めぐり合わせもたいへんいいというお話をされてきたわけで、ご本の中にもそういうことがございますが、今日は2014年の日本と世界の

状況について、皆さんが気持ちよく年を越していただけるお話を伺えるかと思えます。ではよろしく願いました。（拍手）

嶋中 嶋中でございます。前回は年を越してしまつたという柴生田理事長からのお話ですが、以前はずっと12月にお邪魔していたのですが、たまたま前回は1月にずれてしまいました。今回からまた12月に戻ってきましたので、間が少し空いたわけです。さて、ご紹介いただきましたように東洋経済新報社から『これから日本は4つの景気循環がすべて重なる。ゴールデン・サイクルⅡ』という本を出しまして、先週あたりから本屋さんの店頭に積んでいたいております。

この本には、いよいよ良い気分が正月を迎え